

平成27年度 事業報告書

公益財団法人 大阪府レクリエーション協会

公益財団法人 大阪府レクリエーション協会の目指すもの

『レクリエーション運動を通じて、一人ひとりが生きる楽しみと喜びを持ち、豊かで生きがいのある生活がおくれるように、さまざまな活動を推進する』

基本目標

「健康で心さわやかな楽しい人生を送りたい」という皆さまの願いに応じて、次の3つのキーワードをもとに「楽しい」をつくるお手伝いをさせていただきます。

- | | | |
|---------|----------|------------------------|
| ★ 健康づくり | Health | 心とからだの健全な「美」を願って |
| ★ 関係づくり | Relation | 繋がり・調和・バランスのとれた「和」を願って |
| ★ 笑顔づくり | Smile | 自然と笑顔がこぼれる「幸」を願って |

多くの皆さまに、たくさんの「楽しい」と感じていただく機会と場を提供し、あらゆる「楽しい」をつくる事業を展開することにより、「生きる喜びづくり運動」を積極的に推進していきます。

「楽しい」をつくる事業とは

- | | |
|--------------|--------------------|
| 楽しい人をつくります | 【指導者・仲間・グループなど】 |
| 楽しい機会をつくります | 【チャンス・プログラム・場面など】 |
| 楽しい場をつくります | 【広場・公園・集会など】 |
| 楽しいレク財をつくります | 【あそび・遊びの用具・スポーツなど】 |

笑顔が「楽しい」をつくり、楽しいことが「心と身体の健康」につながります。

笑顔で健康な皆さまの輪 ~和~を広げ、つなげていくことが大阪府レクリエーション協会の願いです。

21世紀のビジョン

1. 歩育を通じて、五感を育み、「生きる力の再生」及び地域との「絆づくり」を推進
2. 自然とふれあい、出会いの場を通じた世代間の交流と家族ぐるみの共有体験を推進
3. 子どもたちの健やかな遊びを通じた、地域社会との交流活動を推進
4. 高齢者や障がい者の生きがいにつながる、さまざまな楽しみ活動を推進
5. 心身ともに健康で、活気あふれる明るいまちづくりを目指す生涯スポーツを推進
6. 地域や種目団体の活性化と新たな組織やグループを育成して「ネットワーク化」を推進
7. 楽しい事業や楽しいつどいを通じて交流を深め、国を超えた相互理解と友好を深める活動を推進

はじめに

公益財団法人大阪府レクリエーション協会は昭和 23 年に発足し、昭和 47 年に財団法人となり、平成 24 年には公益財団法人としての認可を受けました。

今年度はさらに公益性、透明性の高い法人として自立し、大阪を「元気」にするために「おおさか元気プロジェクト」をスローガンに掲げレクリエーション運動を推進してまいります。

特別実施事業

1. おおさか元気プロジェクト

「おおさか元気プロジェクト」とは、大阪を元気にする「草の根絆文化再生運動」です。主役は「プログラム参加者（府民）・会場提供者・資金提供者」です。寺社や公園などの会場提供者も個人や企業などの資金提供者も色々なスタイルで社会貢献していただき、参加者にも大阪を元気にする社会貢献を手伝ってもらいます。そして「プログラム提供」と「人材提供」を当協会が担当します。本構想はいわば「オール大阪」で推進する新しい「共同参画型社会貢献」のモデルなのです。

(1) おおさか元気プロジェクト 2015 with 住吉大社

5月24日（日） 住吉大社を中心に住吉区・住之江区周辺 参加者数 216名

(2) おおさか元気プロジェクト 2015 with 生國魂神社 → 高津宮に変更

11月8日（日） 生國魂神社を中心に天王寺区・中央区周辺（予定）
→ 11月29日（日） 高津宮・空堀地区周辺に変更 参加者数 171名

(3) おおさか元気プロジェクト 2015 with 大阪天満宮

平成28年2月28日（日） 大阪天満宮を中心に北区周辺（予定）
→ 次年度以降に開催を検討

2. 認知症予防セミナー

認知症の有病率は、65歳以上で9%、85歳以上で27%に達します。つまり、65歳以上の方の約10人に1人が、85歳以上の4人に1人が認知症になるということになりますので、誰もがかかってくる病気と考えたほうがよいかもしれません。直近の厚労省の調査によると、認知症高齢者数は、2020年には410万人、2025年には470万人になることが予想されていますので、認知症への関心は、高まる一方であります。そこで、レクリエーションが認知症の予防に大きな影響を及ぼす可能性が高いことを認識し、レク式の認知症予防と脳の活性化を目指した講習会を開催することとした。

(1) 6月7日（日） 大阪府立体育会館（フリッツホール） 参加者数 38名

脳のこと、認知症の基本を知ろう、デュアルタスク 等

(2) 7月12日（日） 大阪府立体育会館（フリッツホール） 参加者数 36名

認知症の予防を踏まえた福祉レク、脳トレ、スキンシップ 等

(3) 8月2日（日） 大阪府立体育会館（フリッツホール） 参加者数 40名

認知症の方への対応・接し方、折り紙、音楽療法 等

- (4) 9月6日(日) 大阪府立体育会館(多目的ホールA) 参加者数 35名
用具を使つての運動プログラム、昔遊び 等
- (5) 10月4日(日) 大阪府立体育会館(フリッツホール) 参加者数 35名
アロマを使つての認知症予防法、認知症予防によい食事・料理法 等

重点実施事業

公益法人として、当協会の事業の公益性をアピールし、社会的評価を高める事業展開の推進を図り、「人づくり」「居場所づくり」「地域づくり」へ取り組みます。

1. 各市町村や組織での『生涯スポーツ・ディレクター養成講習会』の開催に向け積極的に趣旨説明の場を設け、具体的な実施の支援助成を行います。また、「大阪府生涯スポーツ・ディレクターの会」にできるだけ多く加入いただき、ディレクターとしての結束の強化をはかり、情報交換などで連携を深める。
→ 守口市にて開催 全9回(5月31日から6月20日) 受講者15名
2. 友遊パトロール制度に基づいて各市町村へ指導者を派遣、出前事業を実施し、レク活動が地域活性化のための良いコミュニケーションの場となることを皆さまにお伝えした上で、地域に密着した指導者の育成と、その指導者の活動を定着させるための「リーダーの居場所づくり」に取り組む。→ 申請総数 26件 実施数 25件
3. 子どもの体づくりと体力向上、少子化時代に必要な仲間づくりや遊びを通じて、思いやりのある社会ルールの体得や心の安寧を得られるレクリエーション活動プログラムの研究を行う。合わせて、講師の学習会の実施やプログラムの実践を行う。
4. 加盟団体(42団体)となお一層の連携協調を図る。
種目団体 <<27>>、地域団体 <<8>>、領域団体 <<7>>
大阪府レクリエーション・コーディネーター会、福祉レクリエーション・ネットワーク大阪、大阪府レクリエーション協会課程認定校連絡会、事業サポーターなどと連携協調を強化する。
5. 人材育成とその人材の活用により事業を推進する。
 - ・講師塾を開催して公認講師の育成やこれから講師を目指す人の育成を図る。
 - ・種目別(チャレンジ・ザ・ゲーム、ウォークラリーなど)の公認指導員、審判員を養成する。
 - ・事業サポーターなどにより地域や種目ごとに事業グループを編成し人材育成を図る。
 - ・有資格者へのフォローアップ研修を行い、資格取得者が当協会の事業推進の強力な支援者として、継続的にレクリエーション活動に関わっていただきやすくする。
6. 新たな特別賛助会員、賛助会員を募り、当協会支援の輪を拡大する。
公益性を高め、「健康で心さわやかな楽しい生活を送りたい」という皆さまの願いに応えるためには、当協会の体質強化が必要です。この為に当協会が行うレクリエーション運動の趣旨に賛同し、ともに支えて頂く多くの賛助会員を募集し、個人や法人から賛助会費を募る。

普及奨励

1. 特別行事による府民へのレクリエーション運動のPR活動

(1) おおさか“歩育の日”

4月19日(日) 大阪城公園内 参加者数 144名

(2) 第20回 課程認定校レクリエーション交流大会 参加者数 597名

7月5日(日) 大阪府立体育会館(第1競技場)

(3) 2015 府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル

～スポーツ・レクリエーション発表交流会～

11月1日(日) A T C

2. 全国運動に飛躍させる歩育

「歩育」を府民運動から国民運動へと展開するためにも更なる定着化と拡大を目指して、月例会・ふれあい歩育・歩育講座を実施する。また、歩育を中心として地域に出向いて巡回教室を実施する。

(1) 月例会

定期的な事業の実施により『歩育』について一層の啓蒙を図り、歩育事業を定着化させる。そのため、参加者のニーズとマッチングした季節感あふれる魅力的なコースを設定し、毎月例会として「歩く」＋「交流」事業を開催する。『歩育』で生きる力の再生を図る。

開催日	テーマ	場所	参加者数
5月10日(日)	新緑の仁川を歩く	仁川	38名
6月14日(日)	大和郡山環濠集落を訪ねる	大和郡山	31名
9月20日(日)	飛鳥の風物詩 棚田を訪ねる	明日香	40名
10月18日(日)	秋の箕面の森を訪ねる	箕面	29名
11月15日(日)	熊野街道を歩く Part-7	泉佐野	36名
1月17日(日)	西宮神社から廣田神社詣へ	西宮	33名
3月20日(日)	なにわの治水を訪ねる Part-3	大阪城	37名

(2) ふれあい歩育

歩育のコンセプトである【五感】(見る・聞く・触れる・食べる・匂いをかぐ)をテーマとして、子どもから高齢者まで、老若男女問わずに楽しむことのできる全世代型の「歩く」＋「五感体験」事業を府下の公園を中心に実施する。

『ふれあい歩育』で育む五感、ひろがる交流

開催日	テーマ	会場	参加者数
6月7日(日)	見る	城北公園・花菖蒲	46名
9月6日(日)	聞く	鶴見緑地	23名
10月25日(土)	食べる	河南町	36名
2月7日(日)	匂いをかぐ	柏原市高尾山の麓	51名

(3) 歩育講座

将来に向けた「歩育」の担い手の養成し、「歩育」の推進と普及について考え・学ぶ「歩育講座」を4回開催する。(2回を1クールとして行う)

回	期 日	参加者数
第1回	6月20日(土)	13名
第2回	7月18日(土)	9名
第3回	1月30日(土)	中止
第4回	2月27日(土)	12名

(4) ウォークラリー大会

ウォークラリー指導員養成講習会を受講された方、ウォークラリー指導員の方の企画運営実践の場でもあり、学生や、地域の方への歩育事業のPRも兼ねる。

時期・場所未定 → 開催せず、次年度以降検討

3. レクリエーション運動PRのための『友遊パトロール』活動の実施

有資格者支援事業として行う。地域に密着した指導者の育成と、その指導者の活動を定着させるための「リーダーの居場所づくり」になるよう、大阪府下へ広く指導者を派遣する。また、レクリエーション協会の周知の一助にもなり、レクリエーション運動のPRへと継る。

4. 民踊普及奨励

第42回朝日民踊大会

9月27日(日) NHK大阪ホール 出演者 延べ700名 一般来場者 800名

5. その他

第69回全国レクリエーション大会

9月19日(土)～21日(月) 長野県

指導者の養成

1. 153期レクリエーション学苑

レクリエーション・インストラクター資格取得およびレクリエーションについての基礎学習をしたい方のための養成講習会。

集団を対象としてプログラムや活動を通じ、コミュニケーションの促進やその中にいる個々人の主体性や協調性を引き出し、また地域社会の課題に目を向けて「楽しいをつくる」イベントや遊びの広場・趣味の会など「市民サービス型事業」を企画・演出ができる推進者を養成する。

回	期 日	参加者数
第1回	06月13日(土)・14日(日)	14名
第2回	06月28日(日)	11名
第3回	07月26日(日)	11名
第4回	08月30日(日)	15名
第5回	09月12日(土)～13日(日)1泊2日	13名
第6回	10月25日(日)	13名
第7回	11月29日(日)	13名
第8回	01月24日(日)	13名
第9回	02月21日(日)	14名

2. レクリエーション・アドバンストセミナー

福祉施設で使える多くのアクティビティを体験し、それを上手に指導・支援する手立て、ノウハウが習得できる講習会や地域を拠点に遊びを展開しているレクリエーションリーダーや、現場の職員や青少年育成関係者などが子どもたちの様子を具体的にお伝えし、現場での指導事例など紹介する講習会。

日 程	内 容	参加者数
05月16日(土)	生涯スポーツ	11名
06月21日(日)	基本のゲームいろいろ	28名
08月09日(日)	読み聞かせ	30名
10月04日(日)	テーブルを使ったゲーム 身近なものを使ったゲーム	28名
11月15日(日)	手品	24名
12月12日(土)	運動あそび	20名
01月17日(日)	歌あそび	41名

3. コミュニケーションワークセミナー

あらゆる場で大切となるのが、コミュニケーションスキル。信頼関係を深く築くためにはどうしたらいいか、どうしたら考えを上手く伝えることができるのか、相手の本音を引き出すにはどうしたらいいか等、ワークを通じて今までとは違う新しい成果を見出すことができる講習会です。

日程	内容	参加者数
9月27日(日)	コミュニケーションワークⅠ	15名
1月31日(日)	コミュニケーションワークⅡ	19名

4. 講師塾

将来レクリエーションを教え伝える立場になるリーダーや事業サポーターとしてボランティア活動をしている方々に受講を呼びかけて、受益者負担で「自主参加型」の学習会を「講師塾」として開講している。

今年度はレクリエーション活動の実践指導力を身につけていただく内容で実施する。

日 程	内 容	参加者数
5月20日(水)	開講にあたって、塾生に望む 指導者の立居振舞い	30名
6月17日(水)	意思の伝え方(話のまとめ方・説明の仕方)	24名
7月15日(水)	講師に求められること・態度	27名
8月19日(水)	レクゲームの指導法(実技指導)	22名
9月16日(水)	広報・PRについて →NHK大河ドラマ「花燃ゆる」から見た明治維新	23名
10月14日(水)	魅力的に見せるには(姿勢・表情) →「広報・PRについて」に変更	21名
11月18日(水)	健康と水	21名
12月16日(水)	ロコモティブシンドロームについて	21名
1月20日(水)	野外レクリエーションについて	23名
2月17日(水)	今大事・これから大事・夢大事 閉講式、次年度の予定について	21名

5. チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成講習会

体力や運動能力には、一般に「筋力」「持久力」「瞬発力」などの運動要素や、身体の動きを総合的にコントロールする「調整力」があります。チャレンジ・ザ・ゲームは、こうした運動要素を高める有効な動作を含む種目を取り入れバランスよく運動能力を高めようというものです。

この講習会で、認定を受けた普及審判員は、記録会を開催することができ、幅広い活動の展開を図ることができる。

6月28日(日)

大阪社会体育専門学校

参加者数 48名

6. ウォークラリー指導員養成講習会

歩育事業の1つとして、ウォークラリーの基礎知識を学び、歩くことの楽しみや効果について理解を深める。更新講習会も兼ねて行う。

5月10日(日)

大阪府立体育会館(第2・第3会議室)

参加者数 13名

7. レク・ダンス講習会

「いつでも、どこでも、誰でも踊れる」レク・ダンスのスキルアップと指導法の両方を兼ねた講習会です。

5月31日(日)

大阪府立体育会館(多目的ホールA B C D)

参加者数 48名

8. 高齢者レク・ワーカーフォローアップ研修
 28年2月14日(日) 大阪府立体育会館(多目的ホールA) 参加者数 32名
 福祉リーダー・プレイリーダーフォローアップ研修と同時開催
9. レク・ピクス インストラクターフォローアップ研修 参加者数 19名
 28年2月28日(日) 大阪府立体育会館(フリッツホール)
10. 課程認定校フォローアップ研修 参加者数 14名
 28年2月28日(日) 大阪府立体育会館(第4・3会議室)
11. 福祉リーダー・プレイリーダーフォローアップ研修
 28年2月14日(日) 大阪府立体育会館(多目的ホールA)
 高齢者レク・ワーカーフォローアップ研修と同時開催
12. 事業サポーターフォローアップ講習会 参加者数 22名
 28年3月13日(日) 森ノ宮ホール
13. 事業サポーター研修会 参加者数 24名
 8月29日(土)～30日 大阪市立長居ユースホテル
14. 公認講師講習会
 当協会公認講師対象の講師派遣システムの説明会を兼ねた、講師としてのスキルアップ講習会。
 28年3月27日(日) アネックスパル法円坂(1号室) 参加者数 26名
15. 指導者養成委託講習会
 (1) 行政、団体(事業団など)、企業などが行う講習会の受託し、プログラムの作成・指導にあたる。また、講師の派遣を行う。
 (2) 課程認定校認可に関する相談、及び認定校への講師派遣。
 (3) 大学、専門学校などの公認指導者養成の委託、申請の手続きを行う。
16. レクリエーション・インストラクター資格認定審査会
 第1回目 7月29日(水) 申請者 21名
 第2回目 28年3月28日(木) 申請者 41名

組織の拡大強化

1. 歩育の担い手の育成と組織化を推進する。
2. レク・コーディネーター会、福祉レク・ネット大阪などへ活動を支援する。

3. 種目団体との連携強化と新たな組織との連携を図る。
4. レク・ビクスインストラクター、高齢者レクリエーション・ワーカースタッフなどの有資格者への援助。
5. 課程認定校卒業生のフォローアップ研修会修了者の事業サポーターへの登録。
6. 生涯スポーツ・ディレクター養成による大阪府生涯スポーツ・ディレクターの会会員の増加。

調査広報活動

1. レクリエーションに関する情報や資料の収集及び調査研究を行う。
関係情報の収集と調査研究を取り進める。
2. 広報活動
 - (1) ホームページによるタイムリーなお知らせの実施やブログの充実を図り、見やすい画面構成とする。
 - (2) 情報誌『あなた わたし みなさん』を発行する。
年間4回発行 (6月4日・9月3日・12月3日・28年3月3日)
 - (3) 新聞社等との提携の強化を図り、外部への発信を拡大する(大阪日日新聞社様など予定)

需品の斡旋及び紹介

レクリエーションに関する教材とすべく図書、用具など需品の斡旋、紹介を行う。

<ご参考>

◆資格を所有している指導者数 (平成28年3月31日現在)

資格名	人数	資格名	人数	資格名	人数
レク・コーディネーター	156名	余暇開発士	44名	高齢者レク・ワーカースタッフ	130名
福祉レク・ワーカー	150名	レク・インストラクター	2,153名	レク・ビクスインストラクター	66名
プレイリーダー	1名	福祉レクリーダー	0名	生涯スポーツ・ディレクター	176名
チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員	43名	ウォークラリー指導員	27名	歩育リーダー	100名
チャレンジ・ザ・ゲーム推進員	55名				



Osaka Recreation Association